

常任委員会

第92号議案から第105号議案までの計14議案について、定例会初日終了後、各常任委員会(付託協議)を開催し、第104号議案・指定管理者の指定について(おもしろいし市場)を総務産業建設常任委員会に付託することに決定しました。

定例会2日目(12月8日)の本会議において質疑が行われた後、総務産業建設常任委員会に審査が付託され、12月11日に議案の審査が行われました。

質疑応答を経て、採決の結果、第104号議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。
審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

総務産業建設常任委員会

- 委員長 菊地 忠久
- 副委員長 森 建人
- 委員 澁谷政義・高橋純斎
- 小川正人・保科善一郎
- 大森貴之・角張一郎

◎指定管理者の指定について(おもしろいし市場)

〔質疑〕今回、指定管理者に選定された事業者は、おもしろいし市場と同様な施設の運営実績はあるのか。

〔答弁〕選定事業者については、青森県三沢市の「道の駅みさわ」や今別町の「道の駅

今回選定された事業者は女川町、残り1社は丸森町に活動拠点を置いている事業者である。

〔質疑〕おもしろいし市場を指定管理とするメリットについて伺う。

〔答弁〕これまで多くの公おおやけの施設を指定管理に移行しているのは、経済性などを加味し、民間の力を借りて地域を活性化していくというところが第一の目的と考えている。

おもしろいし市場においても、創意工夫による自主事業を行いながら、地域の農産物などの販売を通じて地域の魅力を発信していただくよう、民間の力を活用したいことから指定管理としたものである。

〔質疑〕指定管理移行後に取り扱う農産物については、仙南地区を基本とした地元農産物と考えていいのか。

〔答弁〕おもしろいし市場は産直が前提と考えており、選定事業者にもその点はご理解をいただいている。

これまでと同様、地元農家を基本として、地元食材に重点を置いていただきたいと考えている。

〔質疑〕現在雇用されている従業員については、原則として本人が引き続き勤務を希望する場合は、面談の上、雇用していただけるとのことだが、年齢制限はあるのか。

〔答弁〕選定事業者に年齢制限までは伺っていないが、雇用についてはできる限り継続していきたいということを確認している。市としても年齢制限を設けずに雇用していただけるよう働きかけていく。

〔質疑〕農家、事業者などの会員や従業員から不安の声は出ているのか。

〔答弁〕これまで、物産納入業者1社から問い合わせがあったが、農家からは問い合わせや不安の声などは伺っていない。また、現在、運営を委託しているNPO法人からは、従業員などの雇用関係について継承してほしい旨のお話をいただいている。

12月定例会は一般質問を中止しました

12月定例会では、山田市長が新型コロナウイルスの感染により、12月16日まで対面による公務を見合わせたことから、12月4日に行われた議会運営委員会において、市長の公務予定ならびに市内における感染拡大が懸念される状況を鑑み、感染拡大防止を最優先することとし、予定していた一般質問は中止とする決定がなされました。

また、山田市長は定例会最終日(12月17日)から公務に復帰し、あいさつの中で、「多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことをおわび申し上げる。復帰後は市政発展のため、さらに全身全霊で公務に取り組んでいく。」と述べられました。